



万葉集略解 江戸時代（個人蔵）



小倉山百首雙六 江戸時代（嵯峨嵐山文華館蔵）

しきしまの道 ～和歌の世界～

和歌とは、「からうた（漢詩）」に対する「やまとうた（倭歌）」のことです。有史以来、日本は中国の文化を受容しつつ、独自の文化を創造してきました。そのことは和歌にも言えます。

やがて、和歌は日本文学の中心的な位置を占めていきます。その意味では、和歌はもっとも日本的な文芸と言えます。これが、和歌が「しきしま（日本）の道」と言われるゆえんです。

和歌は日本文化にも浸透し、文学の分野をこえて、庶民の間にも広がっていきました。中でも、小倉百人一首を使った競技かるたの名人位戦・クイーン位戦は正月の風物詩として有名です。現代においても、宮中の歌会始はニュースにもなりますし、最近では漫画などで競技かるたの人気上昇が続いています。

本展では、このような和歌の歴史を振り返りながら、その魅力と多様性について、さまざまな資料により紹介します。日本人の心を表現する和歌から日本文化の奥深さを感じていただけたら幸いです。

① 展示解説

10月17日（日）14時～

11月27日（土）14時～

定員：各回20名

会場：室津海駅館

ナビゲーター

柏山 泰訓氏
（室津海駅館専門委員長）

岡本 一馬
（歴史文化財課学芸員）

② ワークショップ

「町家でかるた！」

10月30日（土）10時～/14時～

定員：各回10名

会場：室津海駅館

参加賞
付き！

講師

井上 陽平氏・横田 祐美子氏
（（一社）全日本かるた協会会員）

岡本 一馬
（歴史文化財課学芸員）

③ 記念講演会

「和歌文学の楽しみ」

11月14日（日）14時～

定員：30名

会場：室津海駅館

講師

野本 瑠美氏
（島根大学学術研究院
人文社会科学系 准教授）



百人一首切り絵「猿丸大夫」 令和2年（切り絵作家yoko作）



犬養孝書「玉藻莉」掛軸（室津海駅館蔵）